

高知くらしの護身術

44

電気あんかの発火

一度コードの点検を

(2007年2月7日掲載原稿)

就寝中、気がつけば電気あんかから「発火した」「布団が燃えた」などの電気あんかによる発火事故相談が全国の消費生活センターに平成12年以降41件寄せられていると国民生活センターが公表しました。

メーカーの調査によると、発火したあんかは、17年前の製造で事故原因は「電源コードのあんか側の付け根部分でコードの芯線が断線し徐々に通電が悪くなり、発熱、ショートした結果、布団が焦げ発火に至った可能性が高い。」断線原因は「今までの使用過程で折り曲げや引っ張りにより切れた箇所に繰り返し力が加わった」と考えられるとのことでした。

これらの事故は、長年使用している製品に多く使い方に原因があります。

幸い当センターには相談が寄せられていませんが、場合によっては火災・死亡などの重大な事故につながる可能性も考えられますので、次のとおり取り扱ってください。

- ★ コードを本体に巻き付けたり、コードを過度に折り曲げたり引っ張ったりしない。
- ★ コードを束ねた状態やねじれた状態で使用しない
- ★ 電源プラグは根本まで確実に差し込み、使わないときはコンセントから抜いておく
- ★ コードが発熱したり異臭がしたり電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりすることがあれば使用をやめ、販売店に点検に出す。

これらの事故は電気あんかに限ったものではありません。アイロンやドライヤーなどでも同様な事故はあります。コードを収納する場合は本体に巻き付けずに付属のバンドかひもで止めるようにしてください。